

便利な地下鉄

シンガポールの中心街・オーチャッド通りの駅からひと駅を地下鉄で移動した。初めての経験であった。改札口からホームそして車内は日本と変わらないほど明るく清潔であった。乗っている人のマナーもよく人間社会の先進国だと思った。特に一年中暑い国なので全ての場所でエアコンが完備され爽やかであった。暑がりの私にはまるでオアシスのよう感じられた。

階段を下りてホームに着くと同時に目の前の電車のドアが閉まり発車してしまった。残念に思ったが暫くするとすぐに次の電車が入ってきた。この駅には時刻表が設置されておらず、5分以内の間隔で運行されているようだ。運賃も安く 80 円から 160 円程度。



シンガポールには現在 4 路線（南北線、東西線、北東線、環状線）が開業している。私が乗った区間は地下鉄ではあったが、それは都市部のみで路線のほとんどは高架である。地下鉄の建設費の方が高くつくが車社会の混雑を回避するためのベストの選択である。

シンガポール（人口 540 万人）は淡路島（人口 14 万人）とほぼ同じ面積である。兵庫県の人口は 550 万人。その人たち全員が淡路島に移動して住んでいるようなものだ。シンガポールは団地国家といわれるだけあって、どこまで行っても高層住宅で造られた国であった。このように人口密度が高い地域では車社会の限界がある。日常生活の中で鉄道それも地下鉄の果たす役割は大きい。

東京の地下鉄マップを見た。それはまるでクモの巣が張っているように見えた。しかし大都会に暮らす人達にとってはなくてはならない便利な交通手段なのだ。

撮影 2014 年秋

